



平成19年3月6日 記者クラブ配布資料			
担当課	担当	担当者	電話番号
畜産研究所	飛騨牛研究部	坂口慎一	0577-68-2226

枝肉研究会で種雄牛候補「広景福」好成绩

○畜産研究所（所長酒井謙司）は、平成19年3月1日に高山市八日町のJA飛騨ミート（代表理事常務川植義彦）の協力を得て、飛騨牛の次代を担う種雄牛候補「広景福」の枝肉研究会を開催しました。

- ・県下各地から生産者、流通関係者、技術者等約100名が参加。
- ・研究会では、広景福の子供8頭の枝肉が飛騨ミートに展示され、全国和牛登録協会、日本食肉格付協会、飛騨ミート、畜産研究所の職員が、霜降りの状態や枝肉の状態など詳しく審査し、その後、参加者とともに研究会の席で、広景福の特徴や今後の活用方法等について熱心に討議がされました。

○広景福

- ・本牛は、岐阜県のブランド「飛騨牛」に多大な貢献をした「安福」の子供で、高山市清見町の広均さんの生産牛。
- ・平成14年5月6日生まれ（4才9ヶ月令）
- ・血統

(父) 安 福 原 9 3 0	(父の父) 安谷土井 原 4 7 2	安美土井	田安土井 菊美土井
		いつひめ	田森土井 田照土井
	(父の母) ちずる 原85545	安美土井	田安土井 菊美土井
		とくはる	徳藤土井 茂金波
(母) はるかげ 原888503	(母の父) 景 藤 原1400	第7系桜	第14茂 城 松
		しおのり3	晴 美 第8芳華
	(母の母) はるもん 原645575	紋次郎	安美土井 田森土井
		はる7の29	乙社6 第1小田清

○広景福の枝肉研究会成績

- ・枝肉研究会の目的：広景福の子供の成績を見て、広景福の遺伝的能力を調査。
- ・当日展示された8頭にこれまでに成績が判明していた6頭を加えた14頭の成績。

区 分	広景福	全国（一般牛：去勢）
とりまとめ頭数	14頭（去勢12頭、雌2頭）	214, 104頭
出荷月令	27.7ヶ月	
枝肉重量	436.0kg（去勢445.6kg）	451.5kg
歩留基準値	74.3%	73.7%
ロース芯面積	56.8cm ²	53.7cm ²
バラの厚さ	7.7cm	7.6cm
皮下脂肪	2.4cm	2.4cm
BMSNO	7.7	5.4
格付A4・A5率	100%	53.2%
格付A5率	71.4%	16.8%

- ・和牛にとって最も重要な霜降りの状態は、1から12のランクに区分表示するもので（BMSNO）、本牛の7.7は全国で最高クラスの好成績。
ちなみに、全国の一般牛（去勢）の平均は、5.4です。
- ・牛肉の「格付」は、肉質等を総合評価し、大きく5段階に区分されます。
その格付では、全頭が5等級もしくは4等級にランクされ、良いものが揃うすばらしい結果であったことから、今後の飛騨牛生産に大きく寄与できるものと期待されます。
なお、「飛騨牛」は、岐阜県内で14ヶ月以上肥育された黒毛和種で、日本食肉格付協会の格付で5等級が最上級品、4等級が上級品、3等級が標準品となっています。
- ・一方、枝肉重量も農家経営上、大切な要素で、全国平均に近い今回の成績は、生産農家にとって朗報と受け取られています。
- ・今後、本牛が、消費者・流通関係者が求めている「飛騨牛らしさ」に寄与できるよう関係者・生産者で、どのような使い方が最も適切か更に研究を深め、岐阜県のブランド「飛騨牛」生産に貢献することが望まれています。

窓口：畜産研究所飛騨牛研究部 主任専門研究員 坂口慎一、向島幸司
電話0577-68-2226